

さくら並木

～青年としての英知と勇気と情熱をもって～
さくら青年会議所『新年式典』に出席して

大河原町長 齋 清志

2月中旬に、(一社)さくら青年会議所(以下JC)の今年度『新年式典』が開催されました。さくらJCは、1983年に全国で712番目に大河原JCとして設立され、10年後に名称を変更し地域に根ざしたまちづくり運動を展開してきた民間の団体です。現在は柴田郡内4町をテリトリーとして、三つの信条『修練・奉仕・友情』を掲げながら、明るい豊かな社会の実現に貢献することを目指して活動しています。

組織を代表する今年度の理事長は、代々続いて第38代目ですが、挑戦する気概と覚悟に満ちたスローガンを掲げ、全員一丸となって活動する立派な所信表明を行いました。不肖私もさくらJCのOB会員で、第9代理事長を務めさせていただきました。当時は、会員も多く『柴田・村田・大河原三町合併』の問題提起をした頃で、『文化隣接都さくら市構想』を発表し、更なる波紋の広がりを期待して『三町合併仙台決議』を実施しました。合併はあくまでまちづくりの手段の一つと考えましたが、地域の将来を見据えた気概と覚悟を持った運動だったと自負しています。このJC活動に触発されることがなかったら、『商業を切り口としたまちづくり』として実現した『SCフォルテ』の開発や、政治家としての現在は無かったものと受け止めているところですが、いつの時代も青年は理想に燃え、自らと地域の将来へ大きな志を抱くものです。しかし、それは、共に語り合う仲間がいて団結できる組織があつてはじめて実現できるものです。今のJCの最大の悩みは、会員の減少によりまちづくりへの当事者意識が薄れている現状にあると思っております。残念ながら地方のJCほど会員の減少幅が大きいとのことでした。

本町は、人口の減らない、そして子どもの数も働き手も大きく減ることは無い元気な町です。しかし、社会経済環境や価値観が複雑化・多様化し、人と人・人と地域・地域と地域が繋がりにくくなっていることが危惧されています。『大河原は恵まれている』と認識されておりますが、こんな本町ですらJC会員は数えるほどしかないのが現実です。

嘗ては、高度経済成長期の落し子と言われたり、バブル期の経営者2世3世のボンボンの道楽とまで揶揄されたJC活動ですが、代々継続されてきた次代を担うまちづくりの当事者である気概と誇りは持つていた筈です。『JCしかない時代からJCもある時代になった。』というフレーズを耳にするにつけ、JCの存在意義が問われていることにもっと耳を傾けて欲しいと願って止みません。

青年としての英知と勇気と情熱を持って、この先進地でこそ明るい豊かな社会の実現に向け主体的な活動が実践されることを期待したいと思えます。地方の元気も日本の再建も青年の皆さんの活動に託されているのですから…。

(2月17日記)



▲さくら青年会議所理事長・会員と齋町長
(1月15日大河原町へ表敬訪問)

えずこホール イベント案内

えずこ 圏民企画劇場

すてきな企画、大募集!!
～こんなイベントやってみたい!!
その企画、実現してみませんか?～

令和2年度中の開催で、えずこホールを会場に企画を考えているあなた!



DAN DAN DANCE&SPORTS

えずこホールがあなたの素敵な企画を支援します(施設使用料や附属設備使用料の免除など)。企画の立て方や書類の書き方など、スタッフが丁寧に相談に応じます。初めての方でも、気軽に



ご応募ください。

申込締切
3月13日(金)

新井教職員コンサート

照明・音響入門 ワークショップ2020

えずこホールの機材を使ってのしく学べる
照明・音響の入門講座を開催します。



参加者募集

基礎講座:4/30(木)
照明講座:5/12(火)、5/14(木)
音響講座:5/19(火)、5/21(木)

※各回 19:00-21:00

会場:えずこホール

講師:えずこホールスタッフ

■対象:中学生以上で、えずこホールの舞台照明、音響に興味がある方。

■定員:10名(先着順)

■参加料:全5回/1,600円

基礎講座&照明講座/1,500円

基礎講座&音響講座/1,500円

(参加記念品、保険代を含む)

■申込期限:4/15(水)

みんなのいえ えずっこひろば

～親子で楽しむ遊びの場所～

3/11 [水]
10:00～12:00

■参加:無料

■会場:ホワイエ

(出入り自由/申し込みの必要はありません)

お問い合わせ TEL 0224-52-3004

info@ezuko.com

URL http://www.ezuko.com/

えずこホール

塩田芸術文化センター

〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1



学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします

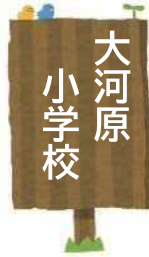


「投げ方のこつは…」

本校では、今年度、子どもたちの体力と運動能力を向上させるために、町の事業として仙台大学との連携した取組を行っています。

本校の体力・運動能力調査においては、全体的には良好なものの、投力に課題が見られました。子どもたちのボールを投げる動きを見ると、ボールを持つ手と踏み出した足が同じだったり、ボールを放すタイミングが分からなかったりするなど、遠くに投げることに苦手な傾向があります。

そこで、3学期は投げる力を高める活動に取り組んでいます。写真のように、校舎からロープをぴんと伸ばし、そのロープに取り付けたボールを校舎に向かって投げるとい活動です。大学生から投げ方のこつとして、体を回転させて



足を踏み出すことや、投げるときに腕を前方に振り下ろすことを教わり、投げる運動にチャレンジしています。

今後も、子どもたちが様々な動きを体験したり、仲間と楽しく運動する機会を設定したりして、主体的に運動に取り組みることができるようになっています。

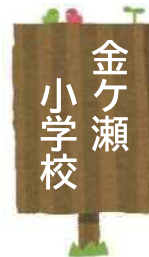
暗唱大好き

「ポプラ児童会 什の掟」

12月の朗読朝会は最高学年の6年生が発表を行いました。国語で学習した漢文と修学旅行で学んできた会津藩の「什の掟」が発表されました。

論語や漢詩、劇風な演出も加えた「什の掟」を6年生41人が心を一つにして会場いっぱい響き渡る声で朗読し、迫力満点の発表でした。

最後には会津藩の什の掟を基にして、規則正しい生活をしていこうという願いを込めて作られた「ポプラ児童会十の掟」も朗読しました。最近、ゲームやスマホの使い方が守られていない傾向があったため、全校児童が



再確認するいい機会になりました。

今回の6年生の発表から、1年生から5年生がどのように朗読するといのかをしっかりと学ぶことができました。

